

1. 要望事業者

法人格	社会福祉法人	設立	1989年8月23日		事務担当者	所属部署 (役職名)	本部(理事長代理・副施設長・生活相談員)		
名称	フリガナ ヘイセイカイ	法人格取得				氏名	フリガナ ナカノヒデタカ	中野秀崇	
		平成会	電話	代表		0982626155			
	住所		〒 889-0901	FAX		代表	0982626157		
		代表者 氏名 (役職名)	フリガナ サクライシュンジ	E-mail		代表			
櫻井俊司(理事長)			担当者	unamanol@mb.wainet.ne.jp					
団体の使命・目的	社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。								
これまでの主な活動内容	地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供。		過去のJKA補助実績						
			無	いつから					
			過去5年間のJKA補助実績						
事業の実施責任者の主な経歴・業績(研究補助は別記入)	平成6年より特別養護老人ホームシルバースターうなまの里勤務、平成12年より生活相談員・介護支援専門員兼務。平成18年より介護支援専門員実務者研修講師を務め、介護支援専門員の育成にかかわる。同年、日向・東臼杵の認定審査会委員として地域の介護保険の維持推進にかかわる。平成29年より総括責任者となる。平成29年より日本社会福祉士会スーパーバイザーとなり、社会福祉士の育成に尽力する。令和3年4月よりうなまの里施設長・理事長代理を務め、令和5年6月より社会福祉法人平成会理事長に就き現在に至る。								
特記事項	記入不要								

JKA使用欄	
--------	--

項番1 / 総事業項目数1

2. 要望事業

補助事業名	福祉車両・就労支援車両の整備										事業形態		A_福祉車両の整備 2.（福祉）高齢者施設で使用する車両の整備												
												公益目的事業情報				事業区分のチェックポイントに沿っていない場合の理由 (沿っている場合は空欄)									
事業項目名	移送車4（燃料車）										種類	23	事業区分	(18)											
												当該事業に関し、他の団体に対する補助申請又は補助申請予定の有無													
要望履歴												団体名称													
種別	(1) 新規要望		複数年度要望	経過年数		年		無																	
			総計画年数		年																				
			継続要望	計画開始年度		年														中断					
事業費総額												事業コード		PD5603											
補助金交付要望額		2,200,000 円										補助対象経費総額		2,930,000 円											
補助率		3/4																							
委託事業の有無	無		円		委託比率		%		委託調査の有無	無		円		委託比率		%									
委託想定先	1			2			3																		
アピールポイント	社会福祉法人平成会は、設立より、利用者のご家族が安心して生活できるよう、「地域福祉の要（かなめ）」としての役割を誠心誠意つとめ、現在、特養、通所介護及びグループホーム等を運営している。また、職員が希望を持って働ける環境づくりを進め、給与のベースアップや、資格取得のサポート及び介護ロボット導入を行っている。特養では、利用者の人権及び個性を尊重し、利用者本位の質の高い多様なサービスの提供を目指すとともに、施設の専門性と機能を十分に発揮し、行政・医療機関と連携して地域ニーズに応じたサービスを展開している。																								

3. 補助事業実施の必要性(意義)

作成日2023年11月20日 作成者中野秀崇

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及び受益者(ニーズ)との関係で整理してください。
補助事業の結果(アウトプット)・成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況「目指す姿」の実現〔(1)の補助事業が最終的に目指すこと〕を図ります。

(1) 補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください。

補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)	
社会的課題の現状	記入不要
目指す姿	記入不要

(2) 補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトプット)、成果(アウトカム)の直接的な効果により、達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的
特別養護老人ホームシルバースターうなまの里は、高齢化率が50%を超える宮崎県美郷町にある施設である。今回、移送車を整備することにより、施設利用者の確実な通院の足を確保し、健康面の安全・安心に繋がるとともに、園外活動等の地域社会との交流に活用することで、QOLの向上を図る。

4. 補助事業の事前計画

補助事業			
(1) 受益者 (ニーズ)	当施設は中山間地域にあることから、公共交通機関や福祉タクシー等の利用が難しく、利用者の通院や園外活動等に使用する車両が必要不可欠となっている。現在、ワゴンタイプの移送車を2台所有し、週5日フル稼働しているが、うち1台が15年を経過し、故障も多く運用に支障をきたしており、新たな車両の導入が急務となっている。今回、新たに移送車（リフト車両）を整備することにより、施設利用者64人（うち短期3人※2023.10.31現在）の確実な通院の足を確保するとともに、園外活動等の地域社会との交流に活用する。		
(2) 事業内容	(1) 移送車4 ワゴンタイプ リフト車 (2) 車種 燃料車 (3) メーカー名 トヨタ (4) 車名 ハイエースバン (5) 排気量 2700cc (6) 用途 施設利用者の通院、園外活動等の送迎に使用する。		
補助事業の結果・成果により、補助事業の目的達成を図ります。	事業の新規性	記入不要	
	事業の発展性	リフト仕様とすることにより、車椅子での移送をスムーズにし、職員の負担軽減を図るとともに、ストレッチャー固定装置を設置することで、寝たきりの利用者のストレッチャーでの移送を可能とする。これにより、利用者の確実で安全な通院の足を確保し、健康面の安全・安心に繋げる。また、コロナ禍により園外活動を自粛していたが、今後、地域行事や学校行事への参加等園外活動に積極的に活用し、地域社会との交流を促進する。	
	実施計画	予算等	【事業の完了時期】 [2025年3月31日] 【スケジュール】 別添1：補助事業の概要のとおり 【予算】 事業経費比較表のとおり
		実施場所	(1) 施設名 社会福祉法人平成会 特別養護老人ホームシルバースターうなまの里 (2) 実施住所 〒889-0901 宮崎県東臼杵郡美郷町北郷宇納間170番地
			実施体制

事業終了後に自己評価（4 / 5 〇 5 / 5）を実施してください。

別紙 J K A補助事業

2024年度

事前計画/自己評価書（3/5 ②）

4. 補助事業の事前計画

補助事業				
		[指標]	[目標値]	[具体的内容]
(3) 達成目標	事業の実施結果	2024年 11月	移送車4（燃料車）1台 導入	運用に支障が生じているため、決定後早期に導入したく、11月中の導入を目指す。
	事業の成果・波及	(1) 一日平均利用者数5人 (2) 月平均稼働日数22日	(1) 一日平均利用者数ストレッチャー1人 リクライニング車椅子1人車椅子3人 を想定 (2) 月平均稼働日数22日 を想定	施設利用者64人(うち短期3人※2023.10.31現在)については、全員が月1回程度、定期にかかりつけ病院である美郷町国民健康保険西郷病院を受診するほか、近隣市の皮膚科や循環器科等の専門医院にも通院しており、当該車両を活用して計画的に移送を行う。また、急病の移送についても当該車両で迅速に対応する。併せて、地域行事や学校行事への参加等、園外活動についても随時に活用する。
(4) 情報発信	事業の実施結果	1..利用者家族、関係者への文書での周知 2.法人ホームページによる周知 3.夕刊デイリー新聞への掲載依頼 4..美郷町広報誌への掲載依頼	1.利用者家族64世帯 2.ホームページの閲覧数6488件/年※平均値 3.夕刊デイリー新聞県北9市町村 4.町広報誌 2013世帯	利用者家族・関係者へは文書にて確実に周知を行う。法人ホームページにおいては、事業の内容と併せて活用状況等の画像を掲載し視覚的にもわかりやすいかたちで広報する。夕刊デイリー新聞については、宮崎県延岡市・日向市を中心に宮崎県北9市町村をエリアとする地域密着型の夕刊紙であることから、県北地域に広く周知するため掲載を依頼する。美郷町広報誌については、毎月1に町内全世帯へ配布が行われることから、確実に町民への周知が可能であるため掲載を依頼する。
	競輪・オートレース補助金による事業であること	1..利用者家族、関係者への文書での周知 2.法人ホームページによる周知 3.夕刊デイリー新聞への掲載依頼 4..美郷町広報誌への掲載依頼	1.利用者家族64世帯 2.ホームページの閲覧数6488件/年※平均値 3.夕刊デイリー新聞県北9市町村 4.町広報誌 2013世帯	利用者家族・関係者へは文書にて確実に周知を行う。法人ホームページにおいては、事業の内容と併せて車両の補助標識の表示の画像を掲載し視覚的にもわかりやすいかたちで広報する。夕刊デイリー新聞については、宮崎県延岡市・日向市を中心に宮崎県北9市町村をエリアとする地域密着型の夕刊紙であることから、県北地域に広く周知するため掲載を依頼する。美郷町広報誌については、毎月1に町内全世帯へ配布が行われることから、確実に町民への周知が可能であるため掲載を依頼する。
(5) 自己評価の体制		1.法人理事会において、内部評価を行う。 2.利用者家族・関係者へ文書により事業実施状況を報告し、意見を聴取する。 3.外部識者、地域代表及び理事代表で構成する事業評価委員会により、法人理事会での内部評価及び利用者家族・関係者からの意見等を踏まえたうえで、評価を行う。 4.法人理事会において、事業評価委員会の評価結果を検討し、より効果的な事業の推進に資する。 5.自己評価結果を法人ホームページで公表する。		

事業終了後に自己評価（4／5／5／5）を実施してください。

事業終了後に自己評価（4／5／5／5）を実施してください。